株式会社 日立システムズ

業務を変える生成AIの社会実装

健康データ分析向けアシスタントAI ～Claude・ガバメントクラウドによる実践～

2026年7月

株式会社日立システムズ
産業・流通事業グループ　産業・流通事業企画本部
ヘルスケア事業推進センタ　担当部長
小島久美子

© Hitachi Systems, Ltd. 2026. All rights reserved.

1．講演タイトルと全体像

生成AIの社会実装

●生成AIを健康データ分析で活用し、現場業務の変革を目指し、
実証実験から実用化に進展

安全性と説明責任の確保

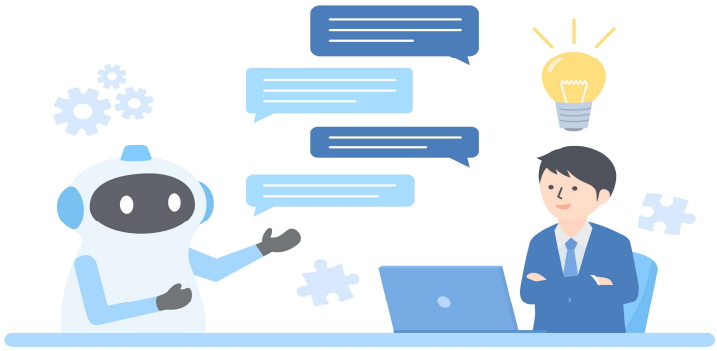
●要配慮個人情報（医療・健康データ）を扱うことを前提に、セキュアかつ説明責任を満たすAI基盤を構築

実証実験の成果

●自治体での実証により、業務時間削減と現場での定着を実現
実用的なAI運用が可能

今後の展開可能性

●成功事例を基に、他自治体や業務への横展開が期待されており、
AI活用の拡大が見込まれている



HITACHI

2．問題提起：データは現場で使われているか

データ活用の課題

●多くの組織でデータは蓄積されているが、実際の業務判断に十分に活用されていない

解釈と行動のギャップ

●見える化されたデータはあるが、専門知識不足で具体的行動に結びつかない問題がある

本来のデータ活用目的

●データ活用は判断支援と行動変革を促し、
健康や効率の向上を目指すべきである



3．本日のキーメッセージ

生成AIの実用段階

- 生成AIは実験段階を越え、安全かつ制度的に業務で活用されている
- AIは判断を支える中核エンジンになりつつある



実証された生成AI基盤

- 自治体で実証された生成AI基盤は現場での定着実績があり、信頼性の高い運用が可能

セキュリティと迅速導入

- Amazon Bedrockとガバメントクラウド対応により、公的機関のセキュリティ基準を満たし迅速なAI導入が可能

契約ハードルの低減

Amazon Bedrock経由でClaude in Bedrock, powered by Anthropic を利用

※Amazon Bedrock はAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

4．コンセプト：見るから動くへ

HITACHI

従来のデータ活用課題

●可視化だけがゴールで、判断や行動は人に大きく依存
専門家に限定される課題がある

生成AIによる支援

●生成AIがデータの要点抽出や傾向説明、施策提案までをサポートし、現場の負担を軽減

行動を促す環境

●ダッシュボードとAIエージェントの連携で、担当者が問いかけ即座に示唆を得られ行動に移せる

5．サービス全体像

HITACHI

全体状況把握ダッシュボード

●複数年度や地域別データを俯瞰し、変化や注目点を直感的に把握可能

AIエージェントの役割

●自然言語での質問に対し、分析や比較、要約を行い疑問に答え
思考・比較・深掘り・整理まで自動実行

人の思考に寄り添う活用

●ダッシュボードとAIエージェントの組み合わせで、業務文脈を理解した回答を生成

6．意思決定支援AIとしての価値

データの自動要約

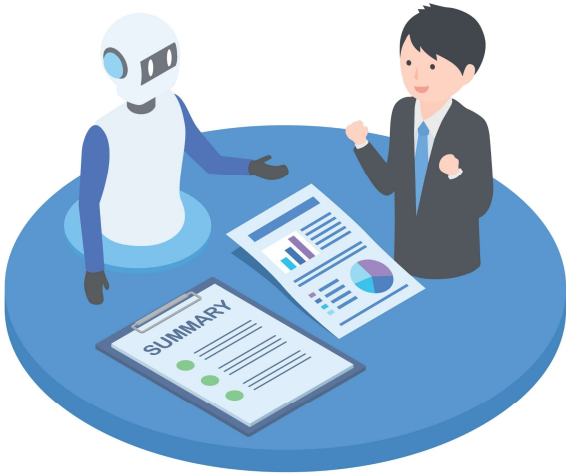
●AIは大量のデータを自動的に読み解き、重要なポイントを文章で提示

判断支援の分析

●条件比較や傾向分析で、結果に影響する要因を明らかにする

行動への提案

●分析結果をもとに具体的な施策や対応の方向性を提示



7．神奈川県での実証事例

HITACHI

リアルワールドデータ活用

●約200万件の健診・医療・保健指導データを統合し、実証の基盤

生成AI基盤構築

●AWS上に生成AI基盤を設置し、未病改善と保健師の業務効率化を目指す

現場利用重視の設計

●保健師が日常的に使いやすい操作性と説明性を重視した設計

公共領域での実用性確認

●実際の行政データと現場業務を対象に、生成AIの有効性が実証

7．神奈川県での実証事例

HITACHI

実証で得られた成果

業務時間の短縮

●生成AIの導入により、支援文書作成時間が16時間から約2分に大幅短縮

自然言語分析の活用

●専門スキルがなくても自然言語で分析可能となり、必要情報を即座に引き出せる

判断の透明性向上

●AIが説明と根拠を提示し、判断の透明性と現場の信頼性が高まった

8．技術基盤の全体像

HITACHI

データレイクと分析処理

- Amazon Simple Storage Serviceをデータレイクとして利用し、
  Amazon AthenaやAWS Glueで効率的な分析処理を実施

生成AIの回答生成

- Amazon Bedrockを活用し、根拠データを参照した精度の高いAI回答を生成

ID・権限管理と監査ログ

- Amazon Cognito/AWS IAMでIDと権限管理を行い、
  監査ログで利用状況を記録し、厳格なガバナンスを実現

公共利用を意識した設計

- セキュリティと説明責任を重視した設計で、公共の業務にも安心して利用可能な基盤を構築

9．Claude採用の理由

HITACHI

業務利用への適性

●Claudeは業務ニーズに応え、要約や判断支援に優れた適した特性

高い説明性

●ユーザーが理解しやすい説明を提供することで、安心して利用が可能

安全性の重視

●不適切な出力を抑制する設計で、安全に活用できる点が評価

公共・企業利用適合

●公共領域や企業向けに適した信頼性の高いモデルとして採用

HITACHI

10. Anthropicリセラー契約の意義

4/23 AnthropicとのニュースリリースClaude

- Amazon Bedrock を通じた Claude in Bedrock, powered by Anthropic モデルの正規再販を開始
- 日立システムズが持つライフサイエンス・ヘルスケア領域のさまざまなサービスを、データ分析・知識処理・業務プロセス高度化などの面で強化



安心のライセンスとサポート

- 正規再販モデルによりライセンスやサポートの不安を解消し、業務AI提供が可能

正式提供可能な基盤

- 契約により「使える」だけでなく「正式に提供できる」生成AI基盤を実現

11. エンタープライズ価値の整理

HITACHI

安全なAI利用

●本サービスはセキュリティとガバナンスを重視し、安全な業務利用が可能

契約と調達の容易化

●リセラー契約や再販モデルにより、導入の契約と調達を簡素化

拡張性の確保

●将来のモデル進化に追従可能な構成を採用

- ・Amazon Bedrockを活用し、ClaudeモデルをAPI経由で利用
- ・リセラー契約上、「Claude Models」として定義されており特定バージョンに依存しない
- ・モデルのアップグレード時も継続提供が可能
- ・将来のモデル刷新にも柔軟に対応し、長期的なAI活用基盤を実現

12. ガバメントクラウド対応

ガバメントクラウド対応

●本サービスは政府専用のクラウド環境に対応し、安全にサービスを提供

Amazon Bedrock利用

●Amazon Bedrockはガバメントクラウド環境で利用可能であり、信頼性ある基盤を提供

生成AIの正式利用

●ClaudeはAmazon Bedrock経由で提供され、公共機関の制度・セキュリティ要件を満たしたAI利用を支援

HITACHI

利用モデルの選択肢

直接利用モデル

●自治体が直接クラウドサービスを利用できるため、調達や管理を自律的に行える

再販経由モデル

●日立システムズの再販を通じてサービスを導入し、サポートや調達の負担を軽減

柔軟な導入選択

●組織の方針に合わせて利用モデルを選びやすく、導入の心理的ハードルを下げる

HITACHI

13. PoCを超えた意味合い

PoC以上の取り組み

●本取り組みはPoCで終わらず、実証実績と体制が整っている

制度対応の重要性

●制度的な対応が整うことで、生成AIの社会実装が可能

生成AIの社会実装

●生成AIは社会での本番業務に組み込まれ、活用が進んでいる

14. 展開の可能性

多分野への応用

●AI基盤は健康だけでなく健康経営や住民サービスなど多様な分野に適用可能

共通のAI構造

●異なるデータでも共通のAI構造を用いることで効率的な横展開が実現

基盤の再利用価値

●再利用性の高さが生成AI基盤としての価値と競争力を高めている



企業の健康経営



住民用アプリ連携



会計データ分析

HITACHI

15. 判断支援AIの本質

自然な業務統合

●判断支援AIは業務の流れに自然に溶け込み、現場担当者が使いやすいことが重要

ユーザー抵抗の軽減

●現場担当者が抵抗なく使えることで、AIの価値が日常業務で発揮

価値の実現

●AIソリューションは現場の業務効率と判断品質の向上に焦点を当てている

16. デモンストレーション

HITACHI

ダッシュボードによる把握

●全体状況を一目で把握できるダッシュボードがデモの最初の段階

AIエージェントによる分析

●AIエージェントが自然言語で深掘り分析を行い、洞察を提供

施策提案と操作性

●専門知識不要で自然言語操作が可能な施策提案機能が特徴



17. まとめとクロージング

生成AI基盤の実証

●自治体での生成AI基盤の実証が安全性と制度対応を確立し、実用段階に到達

データの価値創出

●データは蓄積よりも行動に変わる瞬間に価値を生み、業務改善の鍵

業務変革の推進

●生成AIを活用し、判断と行動を変えることで確実な業務変革が可能

HITACHI

18. お問い合わせ

自治体・企業・会計業務など、さまざまな相談可能

当社 問い合わせよりご連絡ください

問い合わせQRコード



※本資料に記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

HITACHI